

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年10月16日 (19:00~19:30)
------------------	-----	---------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	7名
-------------------	------	----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	8		1	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		7	2	1	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	7		1	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		6	3	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
フェイスシートを活用し、情報を共有するとともに、会議内では必要とする支援の内容について話し合っている。また職員同士の情報交換も積極的に行っている。利用開始し、間もない期間は特に声かけをこまめに行い、他利用者との関わりに配慮している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
家族と職員が会話する機会が少ないので関係づくりに時間を要する。また、家族に対してはどこまで踏み込んでいいか判断に迷うこともあり。開始前のミーティングは必ず行っているとは言えない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
新規利用者の情報を共有するために、今までのようなフェイスシートを各自確認するだけでなく、短時間でもミーティングする機会を作り、職員同士が確認し、支援について話し合う場を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年10月16日 (19:00~19:30)
------------------	-----	---------------------------

2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	7名
--------------------------	------	----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	大	大	大	大	大

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の目標(ゴール)がわかっていますか?		2	5	3	10
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		4	5	1	10
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4	4	2	10
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活か	3	2	5		10

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
連絡ノートを活用した情報の共有や毎月の会議内で利用者・家族の意向を話し合い、意見を出し合っている。また、直接希望を聞きだせる方であれば目標を確認している。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
認知症の方の「～したい」という目標や、本人が話さない部分の隠れた目標を見極めることが難しい。本人の最終目標については難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
認知症について学ぶ機会を作る。家族の希望や本人の訴えることができない目標について、ケアプランや会議を通し、職員全体で共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年10月16日 (19:00~19:30)
------------------	-----	---------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	7名
------------	------	----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	大	大	大	大	大

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上	1	2	3	4	10
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができています	4	5		1	10
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できています	2	2	5	1	10
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	8			10
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	8	1		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>毎日のバイタル測定や食事量、声掛けにて体調の変化を観察・記録し、共有できている。体調不良の方にはNS、上司に報告し、受診や家族連絡など対応している。本人の状況に合わせた基本的な介護はできている。できる事ではなくできない事に対し支援している。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>フェイスシートの細かな部分の読み込み不足や独居の方の情報不足により、以前の暮らしの把握は不十分。人員配置の関係で他利用者の対応中に待たせてしまうことがある。利用者全員の要求に応えることは難しい。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>フェイスシートを利用開始時だけでなく定期的に読み込む。新しい情報があれば連絡ノートを活用し事業所全体で共有する。職員同士が声を掛け合い、連携をとりながら全体を支援していく体制を作る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年10月16日 (19:00~19:30)
------------------	-----	---------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	7名
---------------	------	----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	大	大	大	大	大

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6	2	2	10
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れなように支援していますか?		6	2	2	10
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握して本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	7	1	9
④		2	3	5	10

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
本人のこれまでの生活スタイルを大切に、できるだけ継続できるよう支援している。家族との関係作りにも配慮している。利用者の近所の方と挨拶するなどコミュニケーションをとっている。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
近隣や友人関係などは見えない部分も多く、本人からゆっくり話を聞ける時間も少ない。民生委員については介護職という立場では関わり機会が少ない。独居の方の夜間の行動が把握できていない。本人と家族の意向が異なる場合に入り込むことが難しい。家族の介護力の高い方や自立度の高い方の情報量は少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
本人の地域でも暮らしについて、職員一人ひとりが情報を引き出すことを意識し、得た情報を共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年10月16日 (19:00~19:30)
------------------	-----	---------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	7名
----------------	------	----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	大	大	大	大	大

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	7	1	1	10
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	8			10
③ 日々の生活や記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有していますか?	4	5	1		10
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	8	1		10

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
本人の変化について、その都度職員同士で話し合い、会議内でも個人ごとに話し合っている。本人のその日の体調や予定、気分に合わせて個別の送迎や対応を行っている。配食サービスやスーパー、コインランドリーなど地域資源を活用している。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
同じ時間に帰宅の希望の方が複数いた場合、車両の関係でずらすことがある。職員一人ひとりの持ち味がまだ生かされていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者の希望等により、送迎時間が重なった際は、優先順位や要する時間を考慮し、全体としてのバランスを見ながら対応する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年10月16日 (19:00～19:30)
------------------	-----	---------------------------

6. 連携・協働	メンバー	7名
----------	------	----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか？	大	大	大	大	大

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	3	1	5	10
② 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	2	2	5	10
④	1	3	4	2	10

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
地域防災や花火行事など地域との関わりを持っている。ボランティアの受け入れを行っている。地域でのイベント(公民館の文化祭など)の参加や定期的な外出を行っている。ケアマネは担当者会議の開催、地域包括支援センター主催の地域ケア会議に参加している。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
介護職員はその他のサービス機関や会議に参加する機会は少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
担当者会議や病院でのムンテラなどで得た情報を会議やミーティング伝え、全員が共有できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年10月16日 (19:00~19:30)
------------------	-----	---------------------------

7. 運営	メンバー	7名
-------	------	----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	大	大	大	大	大

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	3	3	3	10
② 利用者・家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	5	2	1	10
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	1	4	4	10
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを		4		6	10

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
毎月の会議内で利用者・家族・地域から得た意見や苦情を検討している。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
事業所のあり方について、立場や周囲への影響を考え意見を言うことができていない職員が多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
小規模多機能の事業をどう運営していくか、事業所が行う範囲について話し合う機会を設け、共通認識を持つ。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年10月16日 (19:00~19:30)
------------------	-----	---------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	7名
-----------------	------	----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか	大	大	大	大	大

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	6	2	1	10
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		5	3	2	10
③ 地域連絡会に参加していますか	1	1	2	6	10
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	3	2	3	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
市内地域密着型サービス連絡会に所属。事業所同士の見学会を実施している。リスクマネジメントは、ヒヤリハットを活用し、意識した支援ができています。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
内部研修については、施設の実施時間に送迎や訪問の業務が重なることが多く、参加できにくい状況。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
外部研修を活用し、それぞれの職員に合った研修に参加しスキルアップにつなげる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

平成27年10月16日 (19:00~19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー

7名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか	大	大	大	大	大

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	9	1			10
② 虐待は行われていない	9	1			10
③ プライバシーが守られている	7	3			10
④ 必要な方に成年後見制度を活用している		4	3	3	10
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	5	4	1		10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

身体拘束・虐待は行っていない。個別の入浴によりプライバシーに配慮している。必要時以外は個人情報を他者に漏らしていない。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

成年後見制度について、全体的に制度自体の認識不足があり。個人情報については書類の保管のみと捉えている職員が多い。成年後見制度を利用している方はいるが、新たに必要な方に対して、利用を勧める支援を行う機会がなかった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

個人情報の取り扱いについて、事業所全体で学ぶ機会を設け、適正な個人情報の管理を行う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 ふじみ野福祉会	代表者	吉原 孝好	法人・事業所の特徴	法人として市内2箇所目の施設として開設し、同建物内には地域密着型特別養護老人ホーム・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所を併設している。法人理念である「利用者・家族・職員の3つの笑顔を大切に地域に根差した施設作り」「利用者の尊厳を守り継続した施設作り 生存から生活へ」のもと、利用者が安心して地域で生活できるよう、個々の利用者に合わせて、職員が柔軟な対応を行っている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護むさしの	管理者	細川 信吾		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	1人	1人	人	人	1人	2人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			事業所のできている点・できていない点がきちんと記載されており、全体で話し合ったことが読み取れる。今回、初めての取り組みのため、職員自身が普段自分たちの行っている業務がどんな意味を持っているか、チェック項目と結びつけることに苦労していた。	それぞれの項目ごとの改善計画を実施するとともに、通常行っている業務内容が利用者にとってどんな意味合いを持つのか、職員自身が理解できるように会議内で話し合っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境			しつらえ・環境に関して居心地よく、快適な環境となっているとの意見が多くあがる。特に臭いに関しては会議内でも話し合う機会があり、気をつけている部分で、施設特融の排泄や消毒臭もない状態を維持できている。	経年劣化による環境の悪化がないよう、今の状態を維持していく。臭いの部分に関しても清潔保持と汚物の適切な処理を継続していく。
C. 事業所と地域のかかわり			職員は地域の行事やイベントへ多く参加できている。施設全体についてはこの場所にあることは周知されている。しかし、中で行っている事業については知らない方も多い。特に小規模多機能の事業については、サービスの複雑さもあり、まだまだ認知度は低い。	地域の行事やイベントに参加した際に行っている事業のPRを行うなど、小規模多機能としての周知活動を行い、事業の特性や利用したいと思えるサービス内容を広めていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み			外出行事として事前に企画した外出は定期的に行っているが、日常的な散歩については実施できていること少ない。利用者以外の方へのかかわりについては、自分の事業所の利用者の対応が一番であるので、そこまでするべきなのか、チェック項目自体への疑問も上がる。	ちよつとした時間を利用し、散歩など外出する機会を増やしていく。それには職員全体の外出への意識も変えていく必要があり、職員会議内でも話し合いの場を作る。利用者以外の方のかかわりについては、送迎や訪問の移動や利用者家族から情報を得た際は担当の地域包括につなげる。
E. 運営推進会議を活かした取り組み			現在行っている運営推進会議内で意見の改善や取り組みの説明はできている。これまで利用者の事例検討は行うことはなかった。	小規模多機能の事業の特性上、独居の方や身寄りのない方の利用も多くあり、そんな方の地域での暮らし方について、運営推進会議内で事例として検討する機会を設けていく。
F. 事業所の防災・災害対策			防災計画に基づき、避難訓練等も実施していたが、周知不足であった。	総括表をまとめる段階で防災計画の説明や備蓄品の目視を実施した。今後は避難訓練等の案内も実施していく。